

ミカン生育情報

千葉県
平成 29 年 6 月号

平成 29 年 1～5 月の気象

本年の 1～5 月の気象を表 1 に示した。月平均気温は、1 月及び 4 月が平年並み、2 月は平年よりやや高く、3 月は平年より 1.1℃低く、5 月は平年より 0.7℃高かった。1～5 月の平均気温は 10.7℃で平年並み、前年より 0.9℃低かった。なお、1、2、4 月に関して、月の平均気温は平年並みか平年よりやや高かったが、半旬ごとの平均気温は乱高下していた。

降水量は 4 月を除く月で平年を下回った。2 月は平年の 30% (68mm 減)、5 月は平年の 66% (59mm 減) であった。5 月に降雨のあった日数は 8 日*で、平年の 17 日の半分以下であった。1 月～5 月の合計降水量は 569mm で平年の 79% (152 mm減)、前年の 86% (91 mm減) であった。

日照時間は 1 月～5 月で平年を上回った。5 月の日照時間は平年の 129% (52 時間増) であった。1 月～5 月の合計日照時間は 978 時間で平年及び前年の 118% (152 時間増) であった。

5 月の半旬別の平均気温は、第 2、5、6 半旬で平年より 1℃以上高くなった。第 1、4、5 半旬では降水が無かった。日照時間は、第 1、3、4、5 半旬で平年を上回った。

1 月には降雪があった。

風速 10m/s 以上を観測した日数*は、1 月に 13 日、2 月に 4 日、3 月に 1 日、4 月に 4 日、5 月に 3 日であった。

※館山測候所調べ

表1 平成 29 年1～5月の気象 (暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1		6.1	6.0	6.6	66	90	58	206	170	184
2		7.0	6.3	7.7	29	97	99	185	152	150
3		8.1	9.2	9.8	148	186	165	173	157	149
4		13.8	13.9	15.4	212	174	198	184	172	126
	1	16.1	16.6	18.8	0	22	21	49	30	45
	2	18.4	17.3	18.0	13	26	29	31	28	21
	3	18.0	17.5	18.2	68	38	23	24	27	49
5	4	17.7	17.8	17.4	0	25	30	36	28	37
	5	20.7	18.4	20.0	0	32	0	44	29	49
	6	20.0	18.8	19.1	34	32	40	46	35	18
	平均/合計	18.5	17.8	18.6	115	174	142	229	177	218
1月～5月平均/合計		10.7	10.6	11.6	569	721	660	978	826	826

樹の生育

暖地園芸研究所における本年の温州ミカンの発芽期は、早生温州が4月14日、普通温州は4月23日であり、早生温州は平年より4日遅く、普通温州は平年より9日遅かった（表2）。開花期は、開花盛期で見ると、早生温州が5月16日、普通温州は5月23日で、早生温州は平年より3日遅く、普通温州は平年より5日遅かった。早生温州の生理落果は5月下旬に始まった。所内のレモンでは着果に至らない不完全花が目立つ樹があった。

表2 発芽期及び開花期（暖地園芸研究所）

種類	発芽期 (月.日)			開花期 (月.日)								
	本年	平年	前年	始期			盛期			終期		
				本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
早生温州	4.14	4.10	4.8	5.12	5.8	5.3	5.16	5.13	5.8	5.22	5.18	5.12
普通温州	4.23	4.14	4.16	5.15	5.13	5.6	5.23	5.18	5.13	5.29	5.23	5.18

平年：平成4年から28年の25年間の平均値

本年の着花量は表年に当たるため、早生温州、普通温州とも平年よりやや多い。しかし、一昨年の表年よりは少ない印象である。昨年は裏年であったため、本年の樹勢は比較的良好である。冬期に寒波があったが（日最低気温が1月15日に-3.4℃）、寒害による著しい落葉や枯れこみはなかった。開花期以降も天候に恵まれ樹及び果実の生育は良好である。

1月と2月は風が強い（風速10m/s以上*）日が合計して17日あり、寒風害の出た園地があったと考えられる。また、山に近い園では冬季に雪による被害や寒害があった。

かいよう病の伝染リスクが高くなる、降水*を伴う風の風速6m/s以上*の日は4～5月に11日あった。3月下旬から4月上旬にかけては降雨日数が多く、発芽前（発芽期）のかいよう病防除適期の判断は難しかった。開花期の5月は0.0mm以上の降雨のあった日数が平年より少なく、開花期の灰カビ病やそうか病への感染リスクは低かったと考えられる。

*：館山測候所調べ ※：便宜上降水量0.5mmより多い日

6～7月の栽培管理

夏肥の施用 早生温州、普通温州ともに6月上旬に夏肥を施用する。基準量は窒素、りん酸、加里を10a当たり成分量で、早生温州はそれぞれ5kg、7kg、7kg、普通温州はそれぞれ5kg、5kg、9kgである。遅効きしないよう即効性の肥料を使用する。中晩柑は品種ごとに管理が異なるため、特性を事前に調べ、こまめな施肥を心がける。

また、苗木に関してもこまめな施肥、及び、かん水を心がける。特に1週間以上降雨がない時や、乾燥しやすい園では、定期的に自身で土の状態を確認し、極度に乾燥している場合はかん水を行う。

摘果 摘果は2～3回に分けて行う。1回目の粗摘果は、早生温州では7月上旬、普通温州では7月中旬に行い、その後9月までに仕上げ摘果を済ませる。着果の少ない樹では粗摘果は控え、仕上げ摘果から行う。摘果程度の基準は、1果当り葉数で早生温州は30枚、普通温州は25枚である。

中晩柑の摘果は品種ごとに異なるため、事前に調べてから行う。温州ミカンとは葉果比が大きく異なるため、初めて摘果する場合は必ず葉果比の目安となる枝（葉枚数100～200枚程度のもので葉果比を合わせたもの）を作り摘果をする。

隔年結果しやすい老木や隔年結果の激しい系統・品種では、枝別摘果（摘蕾）や交互結実等の結実を安定させやすい管理方法を、自身が許容できるリスクの範囲内で試行・検討する。

病害虫の防除 ※防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。病害虫の発生は自身で園を見回り観察する。ミカンハダニ、果樹カメムシ類に関しては、併せて千葉県が発行する病害虫発生予報も参考にする。

カメムシ類 本年の果樹カメムシ類の発生は、南房総市ほか県南地域で並み～やや少ない予想である。本年は越冬している果樹カメムシ類の量は並み～やや少なめであるが、気温が高いため、今後の発生量には注意する。発生のしやすさは園ごとに異なるため、カメムシ類の動きの鈍感な朝や飛来が増加する日暮れ頃に園を見まわり、園への飛来が増加してきた場合は防除を行う。

カタツムリ・ナメクシ類 果実を加害するカタツムリ類やナメクシ類の樹への登上の阻止には、樹幹に銅線や銅板を巻く。また、隠れ場所となる不要な材木や石積みは撤去する。排水不良園では明渠等の排水対策を行う。

ゴマダラカミキリ ゴマダラカミキリ成虫は6～7月に発生が多いため、見つけ次第補殺する。発生が著しく多い場合は薬剤防除や、近隣の園と協力して広い範囲での微生物農薬による防除を検討する。

ハダニ類 ミカンハダニは5月下旬から増加し、7月中下旬に発生のピークを迎える。防除にはマシン油乳剤（97%）150倍液を使用するが、7月以降に散布すると、果実の糖度が下がる場合があるので、遅れないようにする。夏期防除の判断は、ハダニが発生している葉が全体の葉の30%となった時を目安とする。ハダニの発生は高温・乾燥で助長されるため、天候への注意も怠らないこと。

サビダニ類 近年発生が常態化している。おおむね7月～9月の間、果実の上で生活するため、果実を加害する。果実1～2個の被害を見たら、直ちに防除する。ダニ類は農薬に対する抵抗性を持つことがあるため、同じ系統の殺ダニ剤を続けて使用することは避ける。また、薬剤に頼らない防除も検討する。

そうか病 そうか病は、通風不良で降雨後に乾きにくい場所や、窒素肥料が効きすぎている園で発生しやすい。通風を良くし、施肥は適切に行い樹勢を良好に管理するように努める。多発園では、発芽期（新芽が1 cm程度になった時）と落弁期での薬剤防除を徹底する。

かいよう病 かいよう病は、発芽前～発芽期、開花前、落弁直後に防除を徹底する。多発園では、マシン油乳剤などとの近接散布に注意しつつ、幼果実期の梅雨時期や台風前の追加散布を心がける。ただし、薬害が生じる恐れがあるのでラベルを良く読んで使用する。

黒点病 黒点病は水滴によって伝染するため、梅雨入り前に樹上の枯れ枝の除去や農薬散布を行う。葉の上で結晶を作り効果を発揮するような農薬では、散布後すぐに降雨があるような日は散布を避ける。なお、農薬の登録内容が温州ミカンと中晩柑で異なるため注意をする。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961 ※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>